

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 8 日

所属	人間社会学部	職名	教授	氏名	吉田正人
研究課題	社会福祉法人のガバナンスとリスク管理				
研究キーワード	拘束概念、マルチステークホルダー	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	3.すべての人に健康と福祉を	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

当初予定していた社会福祉法人のガバナンスとリスク管理の考察は、より研究対象を拡大しガバナンスを強化することで上場企業（株式会社）と非営利組織のステークホルダーの相違を点描し公益性の強い後者に共通する属性を明らかにするため、年度内の論叢で脱稿できず、次年度継続で考察する。概要としては下記のようにまとめる予定である。

2016(平成 28)年、改正が成立した社会福祉法により社会福祉法人制度改革が行われた。特に経営組織のガバナンスの確保・強化は特筆に値し、同法人に対し評議員、評議員会、理事、理事会、および監事を必置としたことで厳格な経営体制となった。その特徴に関して言及した上で、公益性の高い社会福祉法人や非営利組織ならではの共通属性を明らかにした。検討の結果、殊に上場企業に顕著な「物言う株主」の存在が社会福祉法人には存在せず、マルチステークホルダー間で対等であると考えられる。

社会福祉法人その他非営利組織は、公益性による組織の属性として所有主持分が存在せず、株式会社と異なり株主の不在からマルチステークホルダーに対するアカウンタビリティも非営利組織の統合報告書を研究し活用可能にすることに有意性があるといえよう。

上記のテーマにより非営利組織会計の純資産区分の研究については時間を確保できず、今後の課題として検討対象とする。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

本学の論叢（2025 年 7 月刊行）に掲載予定。

【学会発表等】

3. 主な経費

関係書籍の購入。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

(本文は 2 ページ以内にとまとめること)